

艦これ

ぜかまし  
んぼするお

Circle TAKE3

DOJIN  
R18  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止



今回のおはなしは島風の孤独と向き合うおはなしっぽいです。

はじめまして、そしてこんにちは  
サークルTAKE3のたけみつと申します。

今回のお話は島風を知った提督さんが  
プレイ前「ぜかまし欲しい!」となって  
プレイ後「ぜかましいらん!」となった、  
そんな人たちに読んで貰えたらと思います。

史実でも島風は、軍の大きな期待を背負い  
産まれたはずだったのですが  
戦争の形が変わった事をきっかけに  
その期待は失望へと変わっていきました。

艦これ提督の間でも最初は島風に大きな期待  
をし、その期待が失望に変わった…  
というような話を知人から聞かされ、  
僕のなかで島風を描く以上、どうしてもこの  
テーマに触れてみたかったというのが  
このおはなしになります。

具にも付かないおはなしではありますが  
読んでみてください。

たけみつ



自分は誰よりも速く優れてるという気持ちと  
自分は誰からも慕われてないという孤独感

鎮守府で唯一しまかぜが心を開ける相手の  
提督も、最近は駆逐艦の改二ラッシュで  
ほとんどしまかぜを相手にしていない始末。

不安からしまかぜはひよんな行動を始める  
そんなおはなし



はーん!!

私はなんでも  
いちばんはやく  
出来ちゃうん  
だから!

今日は  
提督のおへやを  
お掃除します!!

すつごく  
キタナイ  
もん!

ぐちゃあ...

提督が  
帰ってくるまでの  
スピード勝負だよ  
連装砲ちゃん!

とたばた

とたばた

ぽろぽろ

ありがとね  
連装砲ちゃん

ほなま

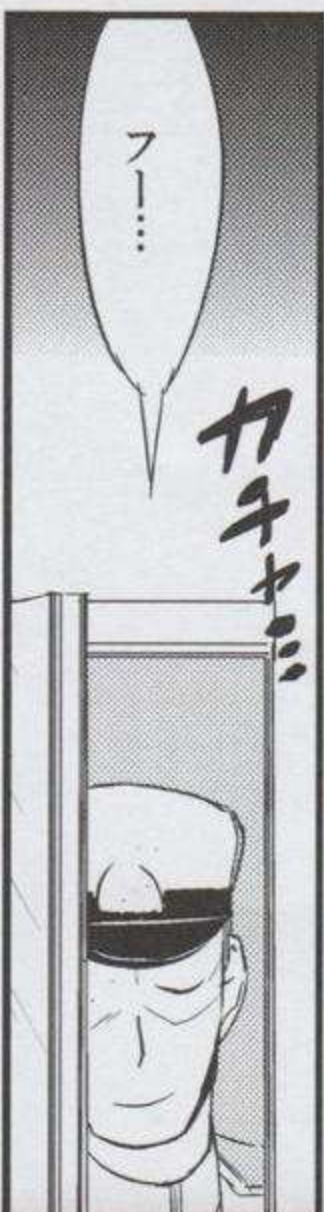
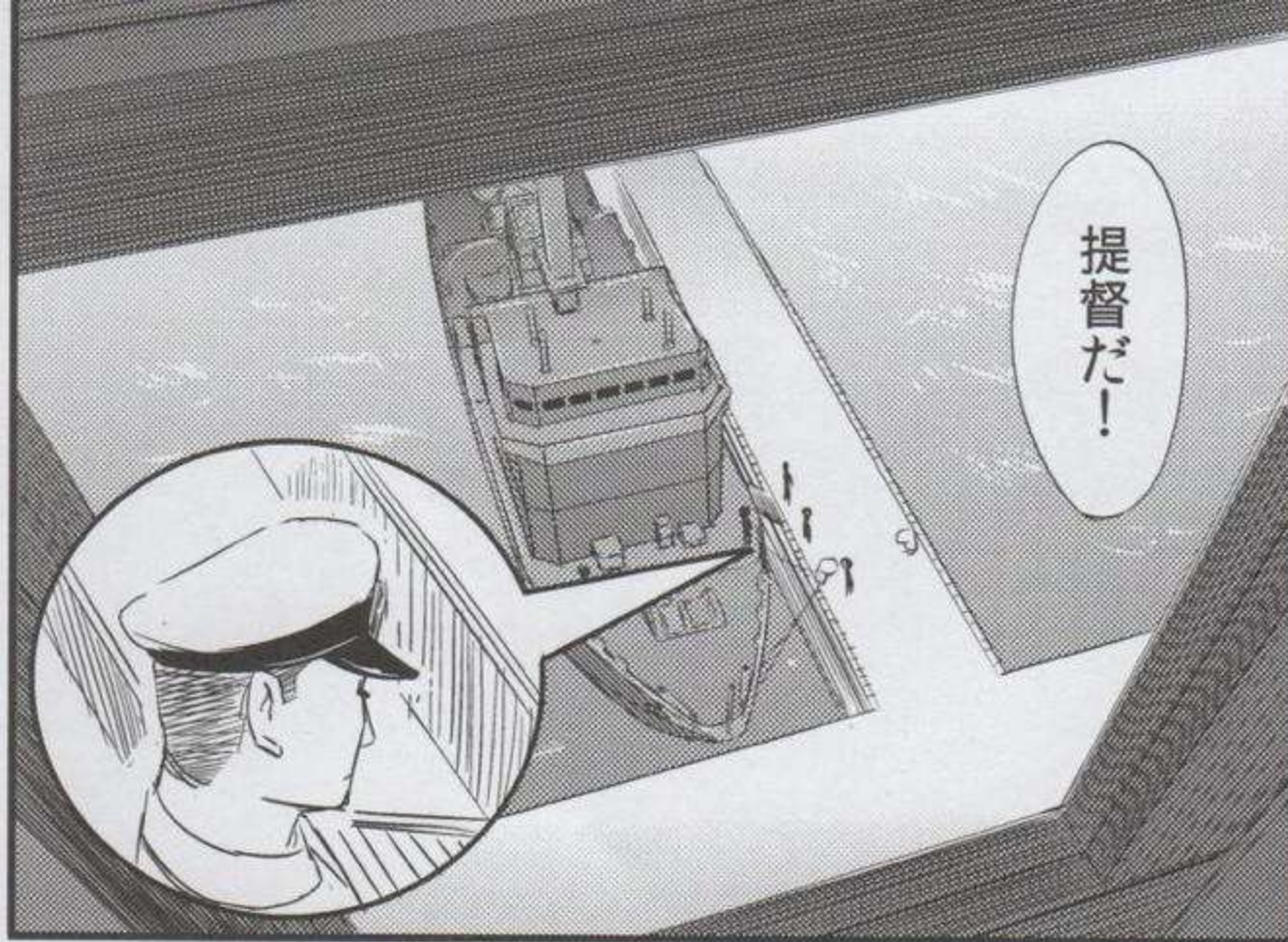
お...  
終わったわ...

お掃除って  
とっても  
大変なのね...

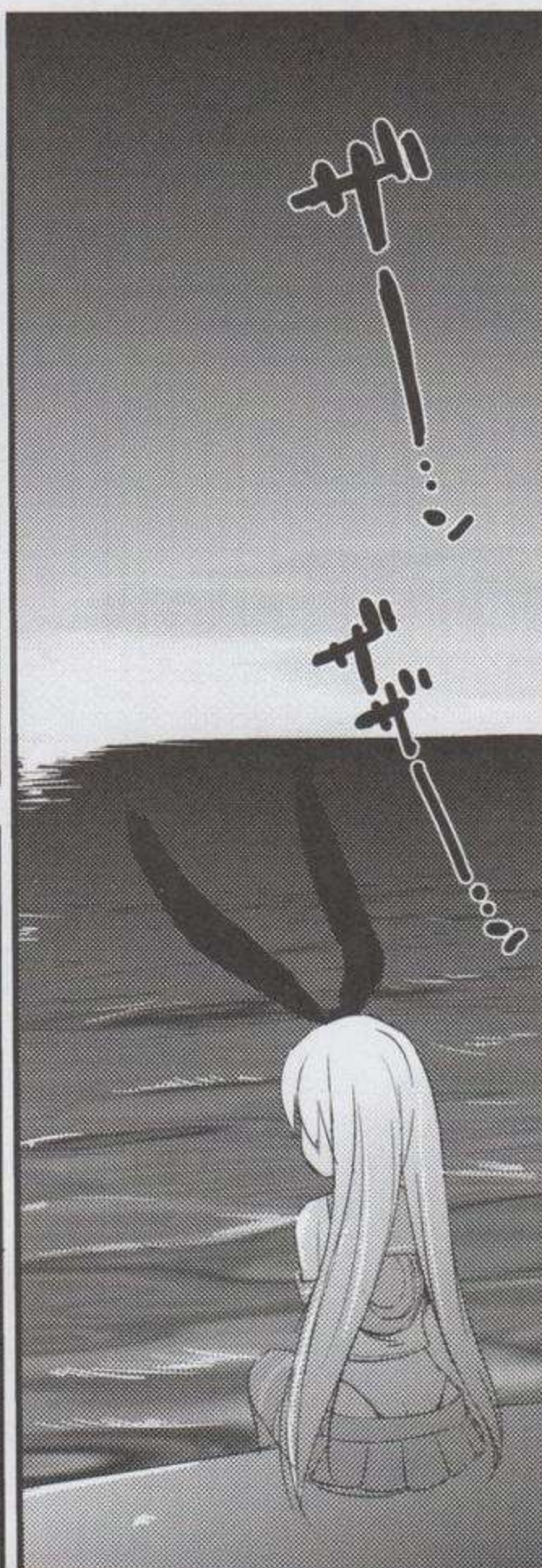
ほ

また

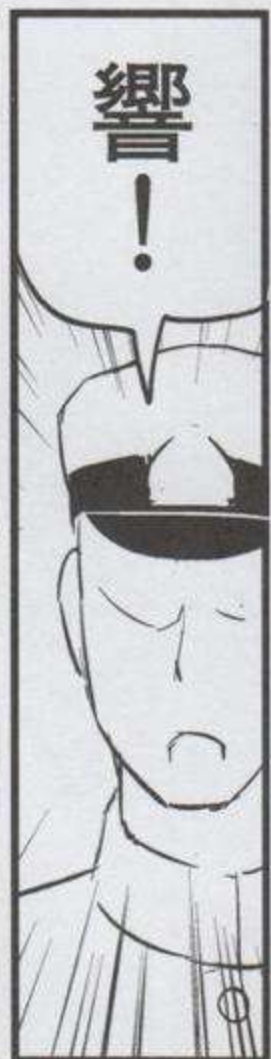




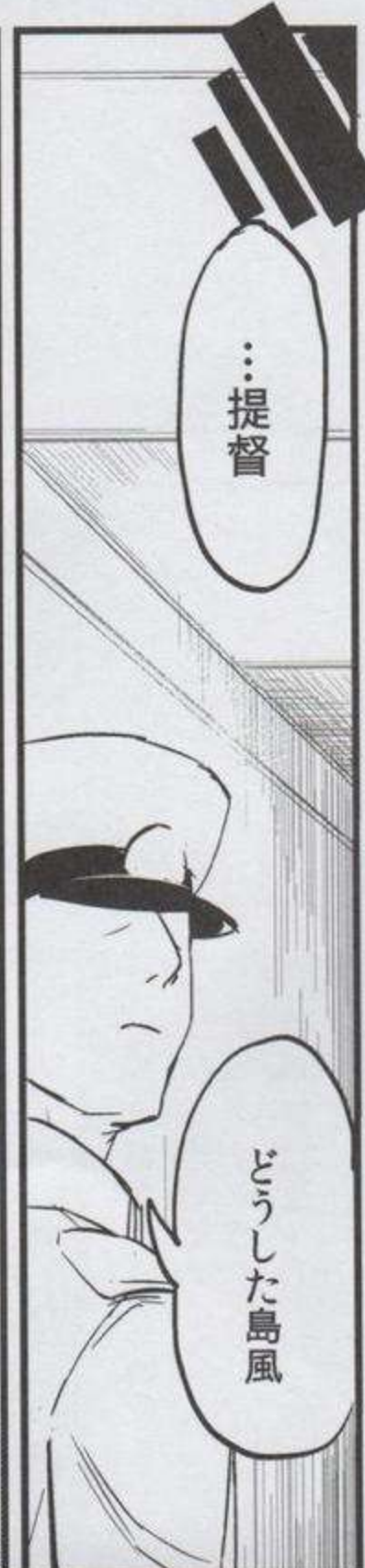


















思い詰めた先の  
思いきった行動は  
大抵 自分を  
窮地に追いやる  
ものですわ

……

連装砲ちゃん

わたしに  
出来ることって  
何があるかな

提督はまだ  
帰ってこれない  
のか？

昨日の今日よ  
戻ってくるわけ  
ないわ

どうにかの  
救えないのか

ザンザンザン

ザンザン

ザンザン

兵器でもある  
私達が提督の  
許可なく  
勝手に  
重罪だもんね

長門  
どうしたの？

外海で  
輸送船が  
座礁した  
空母中の  
哨戒機が  
見つけられ  
たんだ

第一  
我々が提督の指示  
なく動く事は  
禁じられている

妖精さん達は  
救助を求めているが  
遠方での事故で  
到底間に合わない



このまま黙って  
見殺すしかない  
というのがない





連装砲ちゃん！  
一緒に行くよ！

…!?  
島風!?

何を  
する  
気だ!

あの海域なら  
知ってる!  
全速力なら  
絶対助けられる!

待て島風!!  
我々の  
独断専行は  
極めて  
重い罪が

雷撃処分すら  
あり得るんだぞ!  
……!!……くそッ

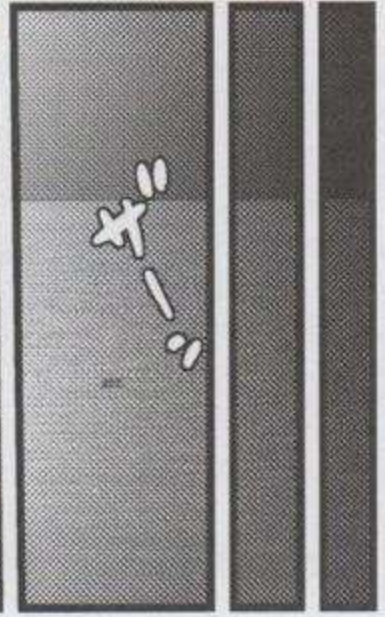
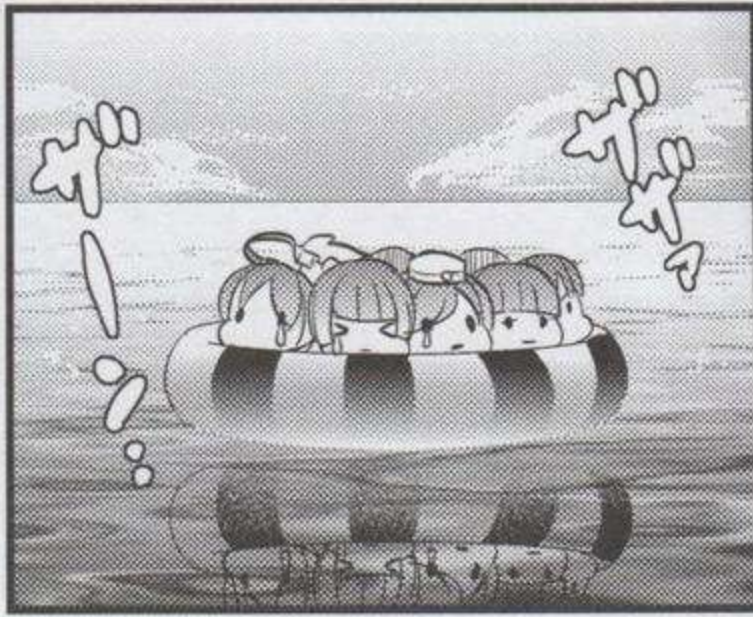
まずいわ  
私たちの足じゃ  
私たちに  
あの子に  
追いつかない!

島風っ  
いつきまーす!

もう  
あんな  
遠くに…

くそッ  
何としても  
提督と  
連絡を  
つけろ!





もう心配要らないよ  
私が帰してあげる!

乗ってたのは  
これで全員ね  
だにひび  
じようぶつ



お待たせっ!

無事だった!?



襲われた...?

え...

逃げて...?  
逃げて...?



深海棲艦...







もういい加減その海域だろ!? 島風と輸送船はどこだ!

提督! あれを!

島風の連装砲だ!

!!...そうか! あいつ囷となつて別れたんだな!

島風の位置を教えてください! 連装砲ちゃん!

ボロボロじゃないか! 敵襲を受けたのか!?

連装砲ちゃん! それか輸送船の乗組員か!?! 島風は!?!

島風っ!

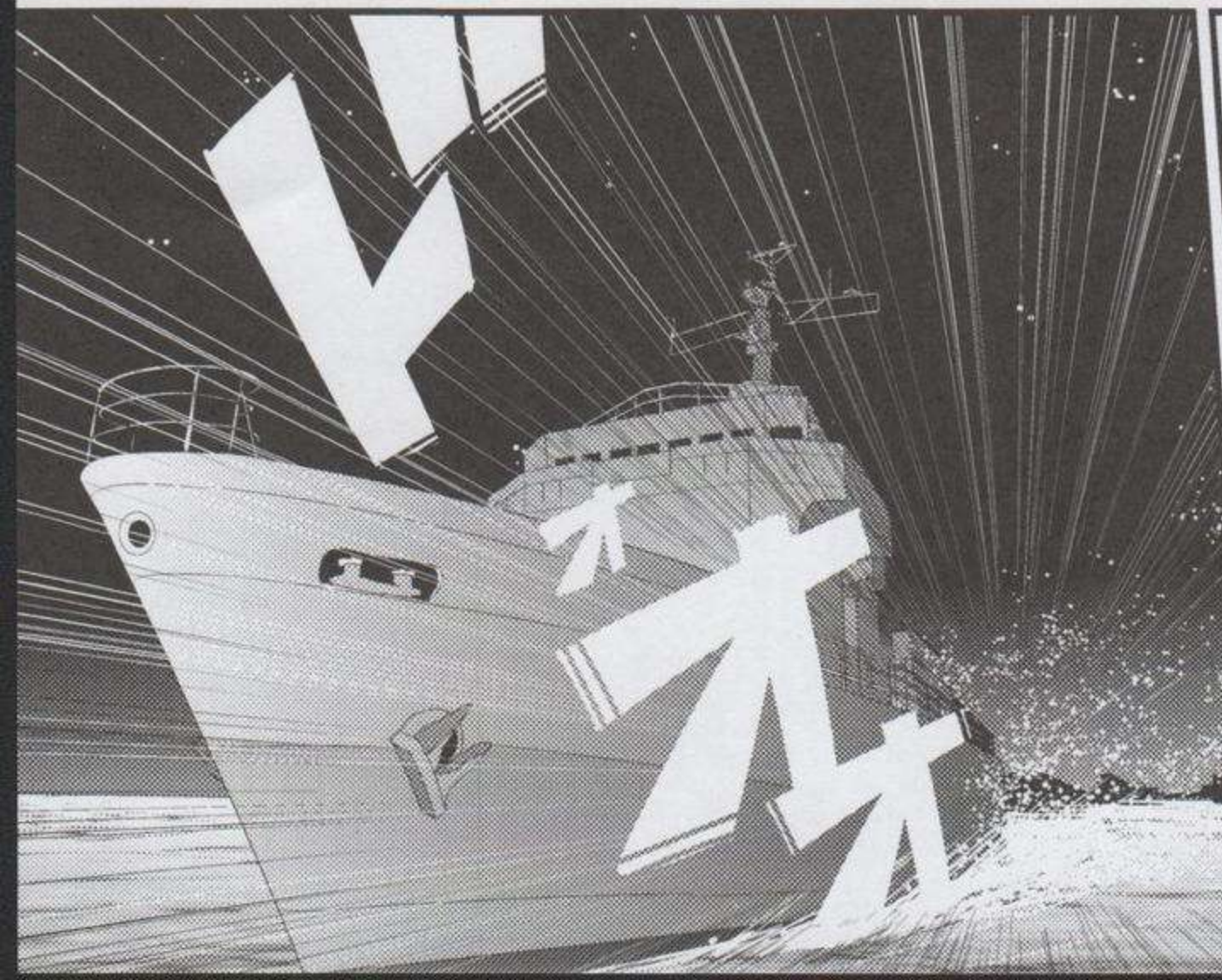
島風! 島風! 島風! 島風! 島風!

あ...

あの島の入り江ですわ!

あの小島...!







駆逐艦「島風」は昭和19年11月11日に戦没した

最速にして最強最新鋭の駆逐艦として産まれた彼女だが

戦争が航空火力の時代になるにつれ

島風の最期は低速航行の中古輸送船の護衛という

自慢の魚雷火力も速力も艦隊運用の観点から不要とみなされる

彼女の存在理由がすべて否定された様な任務での事だ

11月11日島風の率いる輸送船を察知した敵艦隊は大規模な奇襲攻撃を行う

旧型輸送船の破壊の為に350機を超える航空編隊を投入

圧倒的物量を前に輸送船は瞬く間に破壊され

護衛についた駆逐艦もまた後を追うように死んでいった

そのさなか島風は航空爆撃を全弾回避するやっつけのける

全身穴だらけになっても沈まず走り続けた彼女だが

彼女が本来の自分に戻れた瞬間は皮肉なことに

自分の死に場所を見つけた時だった

その異様とも言える事態に敵は島風に向け銃火器による集中砲火を浴びせ続け

最期はオーバーヒートによって水底へ沈む

この記憶から今の自分を当分の自分と重ねてしまったんだろうか

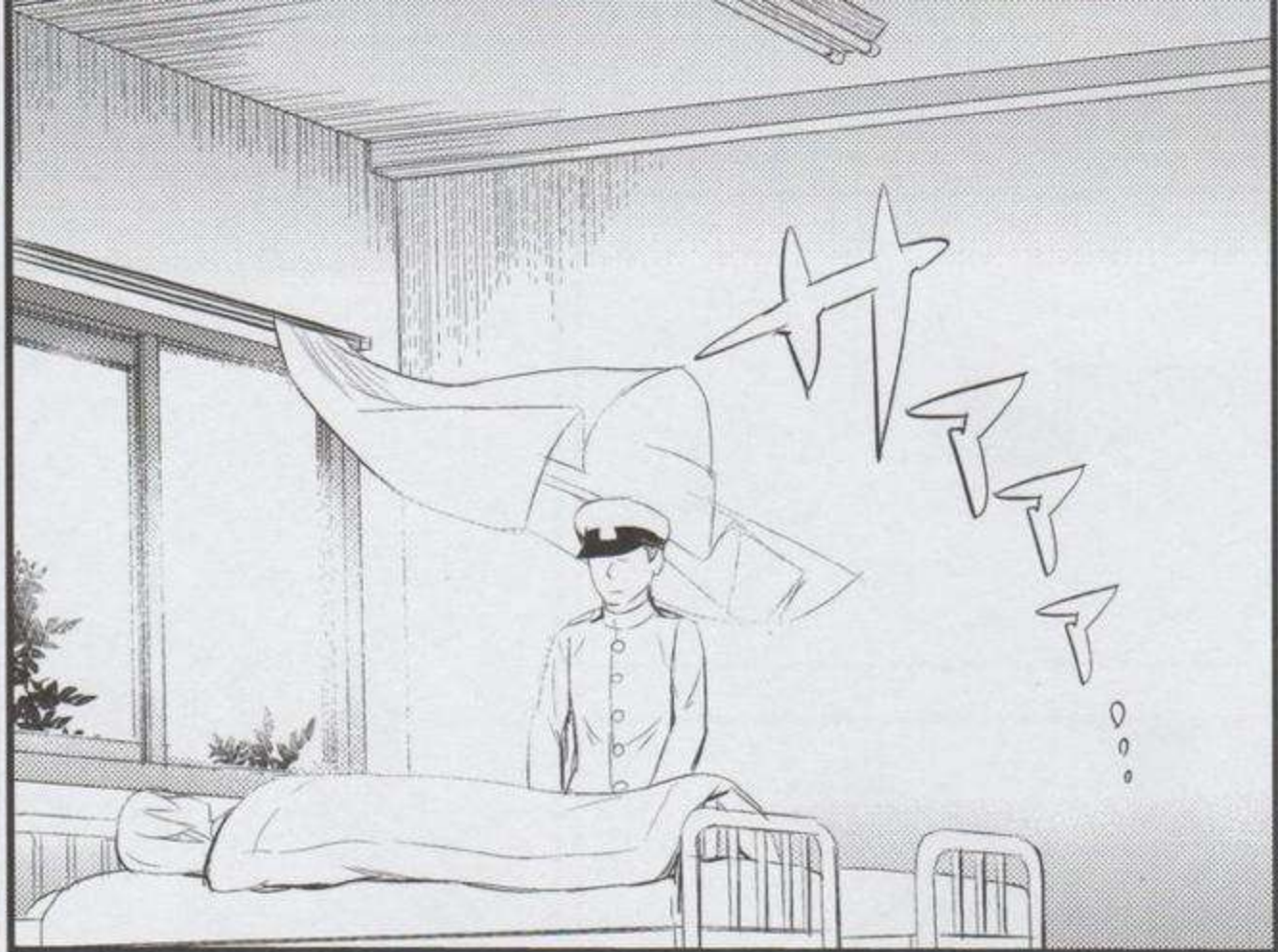
自分の価値を作りたくて救助にたかたか向かうか





あの運命の  
11月11日

迫り来る敵を前に  
島風は  
あえて武器を捨て  
渦中へ飛び込んだ



その自己犠牲の精神が  
転生後の島風にも宿り

他人を想う  
心として  
の救助には赴かせた



この決断は  
つまり  
敵の撃破  
よりも

持てる力の  
全てを  
速力に注ぎ  
死ぬまで  
自分が囷と  
なる事で  
残る生存者を  
一人でも多く  
生還させる  
己の使命だと  
考えたのでは  
ないか



そういうえばこいつ  
『キスカの奇跡』の  
中核を成したん  
だったつけ

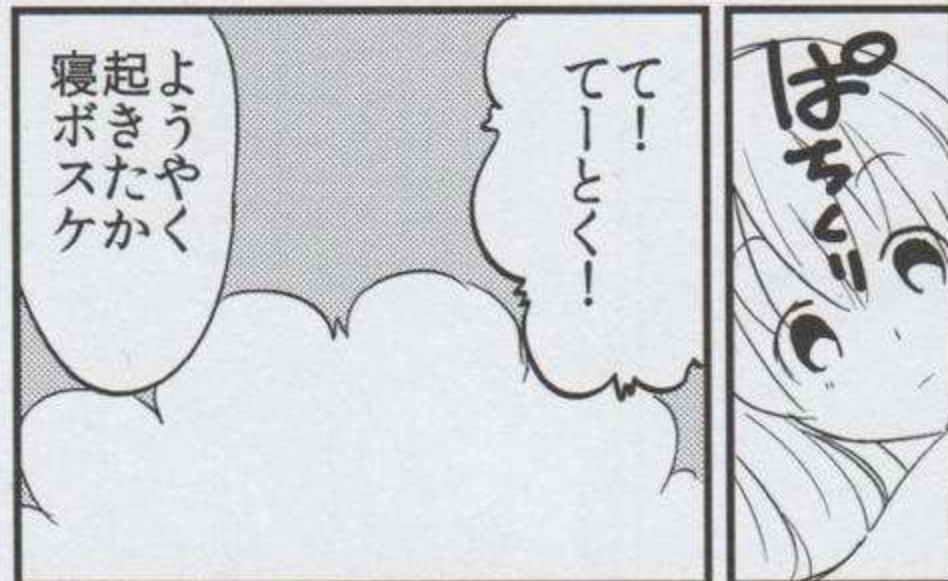
自分の事しか  
頭にな  
やっただ  
思っただ  
もしかす  
と

他人のため  
一命懸  
戦うこと  
出来るや  
なのかも



傷を癒し  
眠り続け  
彼女を見  
私は

ふと  
そんな事  
考えていた  
な



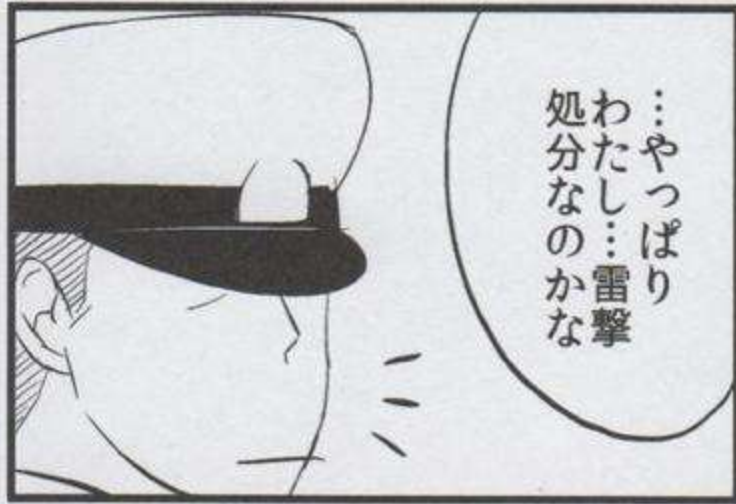
てーとく！



ようやく  
起きたか  
寝ボス

※戦時最大の救出劇と言われる  
キスカ島撤退作戦のこと





…やっぱり  
わたし…雷撃  
処分なのかな



夢の中で私  
ずっと怯えてて  
そんな私を提督が  
やさしく抱きしめて  
くれてたんだ

えへへ…  
そしたら  
目をあげたら  
そこに提督が  
いるんだもん…



に  
こひー…

バツが悪そう  
に笑う



え…  
だ…  
長門がそう

なあ、駆逐艦  
可愛くないか  
持って帰って  
いいかな…

気は確かか  
オメー  
雷撃処分に  
すんぞ

ヤツか！！



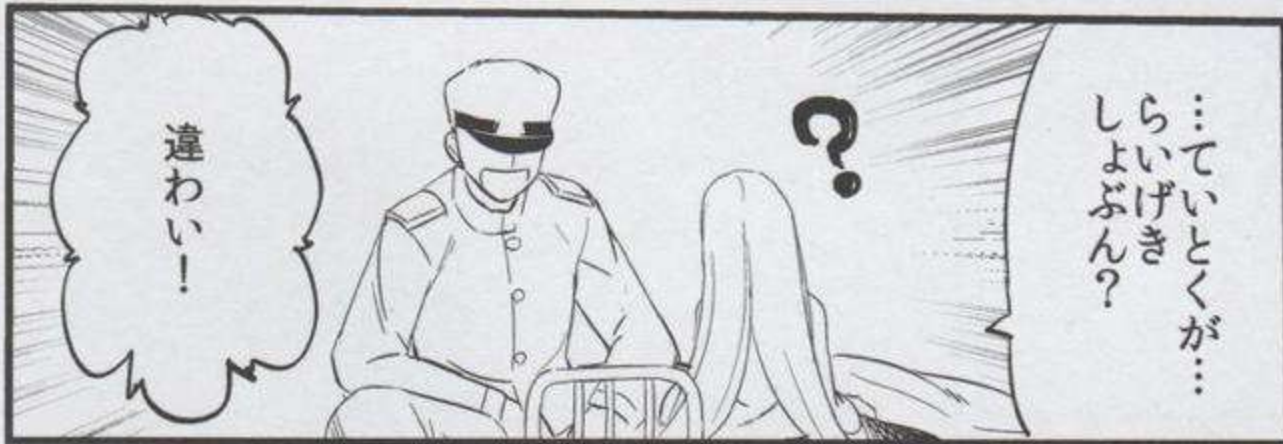
でも  
ちよつと嬉しい  
ずつと提督と  
一緒に居られる  
機会なかったし

これが  
最後  
でも…

マイ  
テヤ

待て  
待て

誰がお前を  
雷撃処分  
するんだ



…ていとくが…  
らいげき  
しよぶん？

違わい！



あるわけ  
ねーだろ  
そんなん

最悪俺が  
管理不届きで  
処罰される  
だけだよ！

まったくんだ  
とぼちりだぜ



そう  
なんだ…

よかった…



司令部はお前の  
働きに感謝  
しているよ

妖精さんお前が  
目を覚ましたら  
お礼がしたいって

感謝状









っ……  
飛びつく  
ようぶつ  
やしがつてり

提督の  
おちんぽ

提督：  
入って  
いい？

ああ…

提督は  
もう仕度  
おわったの？

うん

ただい  
かのど  
体がま  
まだ…？

えへ…  
私は  
だいじ  
ょうぶ

じゃあじゃあじゃあ

わたく  
しでお  
つぎく  
してく  
れてる…

んっ

んっ

じゃあじゃあじゃあ

あまり無理  
するなよ…



も届声  
いいが  
うかて

じゃあじゃあ  
じゃあじゃあ  
じゃあじゃあ

んっ

先：  
に  
ぺろ  
ぺろ  
い  
ても  
い  
て  
も  
？

んっ

じゃあじゃあ  
じゃあじゃあ  
じゃあじゃあ

んっ







島風

提督の  
大人  
おちんぽ  
大好きっ

くぽみ

提督も島風の  
こどもまんこ  
大好きになって  
ほしいなっ…

は  
は  
は

は  
は  
は

おっきい  
大人ちんぽで  
ずぽずぽして？



一体お前は  
どこでそういう  
言葉を覚えて  
くるんだ

て…てーとくの  
パソコン履歴で  
お勉強した…



ひゃんっ

















射るッ：  
射る射るッ

ボボボ

島風ッ…

島風ッ…  
島風ッ…

んおはおは

おは

おは

おは

おは

ビクビク

イクッ：  
イクッ

ぐっ…  
おああ…

ハアッ

ハアッ

カクカク  
カクカク  
カクカク  
カクカク  
カクカク  
カクカク  
カクカク  
カクカク  
カクカク  
カクカク





はあ... ふう...  
起き上がる...  
風が吹く...

は  
は

は  
は

はは...  
はは...  
はは...

はは...  
はは...

おかしら...  
拭いて...  
お願い...

たはき



独りは...  
やだ...

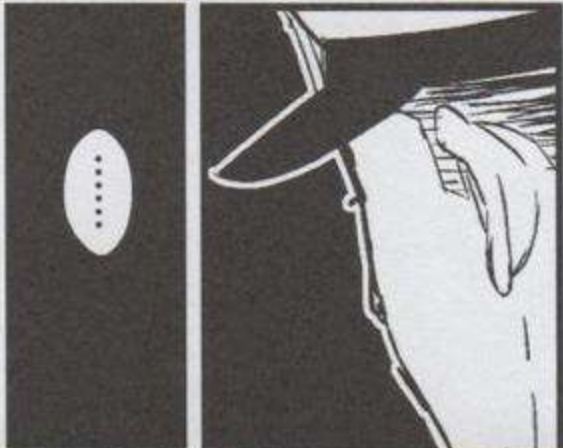


ん?

てーとく...

はははは

ずっと  
このまま  
こうして  
たい...



...



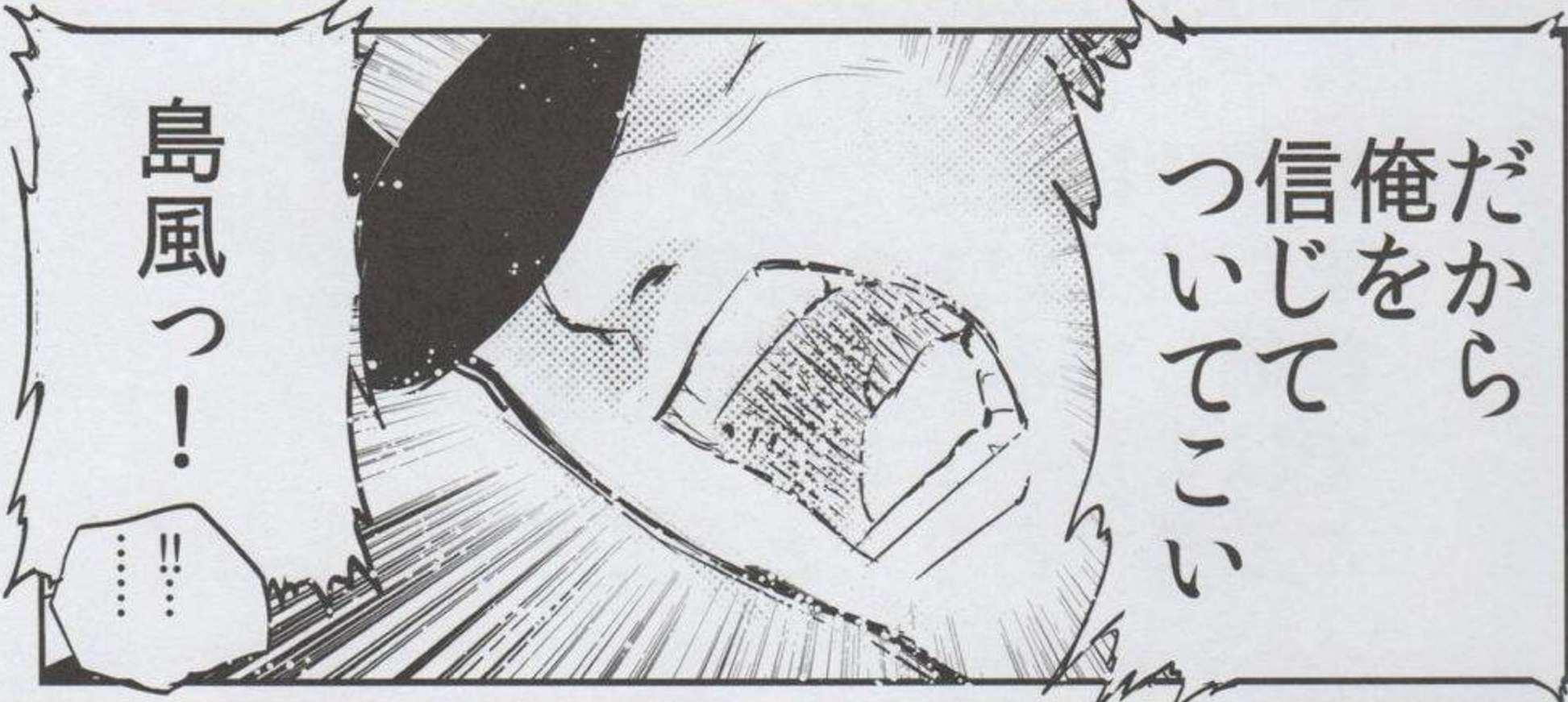




お前の命はの  
運の俺が  
この俺が  
導いてやる

何せ俺は  
提督  
だからな

お前の舞台は  
いられ  
かならず  
俺が  
作つてやる



島風っ！  
!!

だから  
俺を  
信じて  
ついてこい



はっ  
.....





ここまでご覧頂き  
ありがとうございました。  
エッチシーンが少なく  
ごめんなさい。  
やっぱりエッチシーンは  
むずかしいっ！  
次回作は未定ですが  
まだ熱気があれば艦これ本  
継続してみたいですね！  
ではまたいずれ…  
ここまでありがとうございました！

奥付

2013・12・31発行

サークル名TAKE3 (たけみつ)

takemitzu\_illust@yahoo.co.jp

<http://www.pixiv.net/member.php?id=3742862>

印刷会社名「ハイビジョン印刷ドットコム」



艦これ

しまかぜ  
おるすばん